

■ 令和5年度 第5回 秋葉区自治協議会

日時：令和5年9月26日（火）午後2時00分

会場：秋葉区役所6階 601・602会議室

1 開会

（中島会長）

皆さん、こんにちは。これより第5回秋葉区自治協議会を開催いたします。それでは、第1部会の小山委員から開会の挨拶をお願いします。

（小山委員）

皆さん、こんにちは。第1部会の小山です。よろしくお願いします。

昨日まで未来ビジョンの話をしようと思っておりましたが、盛り上がりすぎたため、今日は見送りました。実は、今日来る際に「ひるおび」を聞いていました。コロナとインフルエンザの話で、私は自分がコロナにはかからないと思っておりましたが、8月7日に熱が出て、せきが出始めました。盆には東京、群馬、愛知から孫たちが集まるのですが、心配なので医者に行ったところ、即陽性でした。5日間家に閉じこもり、13日には高価な薬を8個、1日2万円ほど使いましたが、幸い国の補助があり、実費は少なかったです。

6日目には抗原検査キットで陽性が確認され、その後は陰性に。16日には定期的な病院訪問で、医師からもう大丈夫と言われ、その日には自治協の盆踊りに参加しました。19日と20日の祭りにも間に合いましたが、コロナは依然として注意が必要です。私は以前食品会社にいたので、マスクは苦になりませんが、油断は禁物です。これから秋葉区提案事業の未来会議やおひな様の部会、各コミ協の講演会などで人が集まりますが、コロナの予防に気を付けながら進めていく必要があります。来月からは9,000円の負担があるかもしれませんが、十分に注意しましょう。

以上です。よろしくお願いします。

（中島会長）

小山委員、ありがとうございました。コロナの後遺症が長引くこともあるため、皆様もご注意ください。続いて、朝妻博副市長にご挨拶をお願いします。

（朝妻副市長）

皆さん、こんにちは。朝妻です。今日は第5回の自治協議会に参加し、皆さんのご尽力に感謝申し上げます。秋の訪れを感じ始めていますが、新型コロナウイルスとインフルエンザの流行には引き続き注意が必要です。ワクチンの秋接種も開始され、感染予防への取り組みが重要です。

先日、教育懇談会に参加し、コミュニティ・スクールの取り組みについて学びました。地域と学校の繋がりが強く、素晴らしい取り組みだと感じました。地域ごとの差はあるものの、地域課題の解決に向けた各々のアプローチが大切です。開かれた議論がこれには不可欠だと思っているところです。

今日は、皆さんの議論を聞きながら学びたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(中島会長)

朝妻副市長、ありがとうございます。昨年4月には、副市長と秋葉区の子育て支援について意見交換を行いました。今年も委員からの報告がありますので、引き続きよろしく願いいたします。

2 報告

(1) 新潟市バス停上屋等整備事業補助金について

(中島会長)

それでは、次の議題に移ります。都市交通政策課の長谷部係長から「新潟市バス停上屋等整備事業補助金」についての説明をお願いします。

(都市交通政策課係長)

こんにちは。都市交通政策課の長谷部です。本日はこの機会をいただき、ありがとうございます。私も秋葉区出身ですので、よろしく願いいたします。今日は、「新潟市バス停上屋等整備事業補助金」についてご案内します。

資料1をご覧ください。私どもの課では、バスを待つ環境を改善するため、設置費用の半額を補助する制度を運用しています。これは昨年度からの制度で、上屋の設置やベンチ、時刻表示などの整備費が補助の対象です。調査設計費、材料費、工事費が対象で、既存のものを撤去して再建する費用は対象外です。この制度を活用し、バス待ち環境の向上に貢献できればと思います。ご利用の際は、是非お知らせください。

補助する対象になる方は、個人、法人、地域団体としております。自治会様も対象となっております。地域の皆様でバス停の環境改善をご検討の場合、ぜひ当制度をご利用ください。具体的なお相談があれば、いろいろな形でサポートさせていただきます。地域の皆様にこの制度をご周知いただければ幸いです。

詳細については、都市交通政策課にお問い合わせいただけます。チラシにはメールアドレスが記載されておりますが、お電話での問い合わせも可能です。区役所にお問い合わせいただければ、電話番号のご案内もできます。どうぞご検討ください。

本日は、貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。よろしく願いいたします。

(中島会長)

長谷部係長、制度のご案内ありがとうございます。秋葉区出身とは頼もしいですね。秋葉区ではバス停の老朽化が進んでおり、バス待ち環境の改善は重要です。皆さん、ご意見やご質問があればお願いします。補助金の上限について教えていただけますか。

(都市交通政策課係長)

申し訳ありません、重要な点をお伝えし忘れてました。上屋の場合、事業費の半額を補助し、上限は400万円です。ベンチ設置の場合は上限25万円、情報案内システムなども上限400万円となっております。

(中島会長)

ありがとうございます。他に質問はありますか。佐藤委員、どうぞ。

(佐藤委員)

新津東部コミ協の佐藤です。補助金の申請期限について教えていただけますか。

(都市交通政策課係長)

特に固定の期限は設けていませんが、今年度中に補助金を利用するには、工事の竣工が必要です。設計や工事期間を考慮すると、早めの申請が望ましいです。例えば、工事期間が1ヶ月なら、設計期間も含め1月ぐらいまでに申請が必要です。雪の影響も考慮してください。具体的な時期については、お問い合わせいただければご案内できます。

(佐藤委員)

ありがとうございました。

(中島会長)

他にご質問はございますか。よろしいでしょうか。それでは、長谷部係長、ありがとうございました。

(都市交通政策課係長)

ありがとうございました。

(中島会長)

それでは、特にないようなので、これで「新潟市バス停上屋等整備事業補助金について」を終わります

(2) 令和5年度秋葉区地区懇談会の開催報告について

(中島会長)

次に、「令和5年度秋葉区地区懇談会の開催報告」に移ります。古俣副区长、よろしくお願ひします。

(副区长)

副区长兼地域総務課長の古俣です。よろしくお願ひいたします。

秋葉区地区懇談会の開催にあたり、会場の予約や準備、運営に至るまで地域コミュニティ協議会の皆様から大変なご協力とご理解をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

それでは、着座のまま資料の説明をさせていただきます。この資料は、先週のコミュニティ連絡協議会でも説明したものです。

1番目の項目は趣旨、開催日、会場についてです。今年度はCOVID-19のカテゴリー変更に伴い、コミ協の皆様の希望を伺いつつ、通常どおりの開催を心がけました。参加者数は218人で、昨年度から70人増加しました。

2番目の項目は開催内容です。詳細は記載されています。

次に、資料の裏面へ進みます。3番目は分野別の地域課題件数です。今年度はコミ協から合計78件の地域課題を受け取り、昨年度から4件増加しました。分野別に見ると、都市基盤・交通関連が最多で33件、次いで生活環境とまちづくり全般がそれぞれ12件、

防災を含む安心・安全が11件となりました。懇談会では、各コミ協が3つの優先的な地域課題について意見交換を行い、残りの課題については書面で回答しました。

4番目は、地域課題の主な意見と要望です。分野ごとに課題項目を記載しています。都市基盤・交通では交差点の改良、ガードレールや横断歩道、信号機の設置、除雪や消雪パイプの整備などについて意見をいただきました。生活環境では空き家対策、除草、樹木の伐採や剪定に関する意見がありました。安心・安全では防災行政無線の設置、防災講座の開催、避難所の備蓄品補充について意見がありました。まちづくり全般では高齢者の買い物場所や公共交通の充実に関する意見がありました。その他の分野については資料に記載されています。

以上が資料の簡単な説明です。

(中島会長)

古俣副区長、ありがとうございました。懇談会に参加された委員の方々、ご意見や感想がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは、「令和5年度秋葉区地区懇談会の開催報告」を終わります。

(3)「令和5年度Akihara教育懇談会」の開催報告について

(中島会長)

次に、3番目の議題です。「令和5年度Akihara教育懇談会」の開催報告に移ります。牧野教育支援センター所長、よろしくお願いします。

(秋葉区教育支援センター所長)

こんにちは。牧野です。今回のAkihara教育懇談会の報告をさせていただきます。当日は多くの参加者にご協力いただき、ありがとうございました。

事業の目的は、地域と教育の関わりを深め、子どもたちの育成に対する意識向上を図ることです。

懇談会は2部構成で、第1部は地域学校協働活動の発表、第2部はグループワークでした。資料の後半部分には当日の内容やワークショップの様子を記載しています。

参加者は、昨年度に引き続き学校関係者や地域の方々、さらに新たにまちづくり関係者や大学生も参加しました。当日は126名が参加し、105名でグループワークを実施しました。

アンケート結果によると、参加者の満足度は高く、コミュニティ協議会のメンバーも多数参加しました。参加者からは、「とても満足」が53.1%、「まあ満足」が46.9%という肯定的な評価をいただきました。

参加者が感じた成果として最も多かったのは、他の人の意見を聞いたことです。また、テーマに関する知識やアイデアを得ることができ、多くの人と交流し、話す機会があったことが満足度につながりました。地域全体で子どもたちを育てるための具体的なアイデアを得たり、教育を担う一員としての当事者意識が育ったことも肯定的な評価となりました。これらは、事業の目的としては成功だったと思います。

来年度の教育懇談会に関する期待としては、学校と地域が協働して課題を解決する事例

を知りたい、また様々な立場で教育に関わる者同士が意見交換を行いたいという点があります。これらの結果を踏まえ、次年度の教育懇談会の充実を目指します。

自由記述もそのまま掲載しておりますので、当日の熱量が伝わるとと思います。どうぞご覧ください。

添付資料について、資料1と2は当日の資料、資料3はグループワークの様子を写真付きで掲載しました。最後に、各グループの収束用紙一覧を掲載しています。これには、どのような目標を持ち、どのような課題を抱え、どう解決するかのとめが含まれています。お時間があるときにご覧いただければ幸いです。

報告は以上です。

(中島会長)

牧野所長、ありがとうございました。とても充実した懇談会だったことが伺えます。出席された委員の方々、何かご意見や感想があればお願いします。よろしいでしょうか。特になければ、これで「令和5年度Akihira教育懇談会」の報告を終わります。

(4) 令和6年度特色ある区づくり予算<自治協提案事業>について

(中島会長)

続いて、「令和6年度特色ある区づくり予算<自治協提案事業>」について議論します。8月29日に行われたワークショップで、各部会から提案されたアイデアを来年度の事業として検討しました。それでは、各部会長より具体的な説明をお願いします。第1部会から始めてください。

(加納委員)

第1部会の加納です。座って説明させていただきます。区づくり予算については、第1部会はきらサポ部門、未来ビジョン部門、若人塾部門という形で意見がまとまりました。きらサポ部門では、いかに取りこぼさないか、採択をできるだけしていきたいと考えています。未来ビジョン部門は、現在11コミ協で進行中のプロジェクトから選択し、予算を割り当て実行していく方針です。若人塾部門では、若者が効果的に提案書を作成できるような支援を行う計画です。他に具体的な内容はまだ出ていませんが、これら3つの部門を中心に進めていく予定です。

(中島会長)

加納委員、ありがとうございました。それでは、第2部会の説明をお願いします。

(青木委員)

第2部会の青木と申します。よろしくお願いいたします。

第2部会では防災、防犯といった幅広いテーマに取り組んでいますが、今回の主な焦点は生活交通、防災事業の2つです。

生活交通に関しては、まず路線バス金津路線の利用率が低いことに対し、地域とともにその存続に向けた要望や行動を起こしていきたいと考えています。また、高齢者の免許返納が増えているため、交通弱者の公共交通について地区の懇談会や未来ビジョン、コミ協の会長等と協力し、情報収集やアンケート調査を行い、実態の把握と検討を進めていく予

定です。さらに、公共交通のガイド作成も計画しており、来年これらの事業を提案し実施していきたいと思います。

防災に関しては、水害に備えた河川の洪水対策の防災講演会を来年の6月か7月に予定しています。講演会は阿賀野川の工事関係者を招いて開催し、来年は聞くことに注力し、次年度は実体験型の訓練を考慮しています。また、来年は新潟地震60年、中越地震20年の節目であることから、中越地震の被災地である長岡市旧山古志村や小千谷市への視察研修を10月から11月にかけて行う計画です。この研修を通して、地震に対する認識を新たにしたいと思います。

以上が第2部会の取り組みです。よろしくお願いいたします。

(中島会長)

青木委員、ありがとうございました。

次に、第3部会からの報告をお願いします。荒井委員、どうぞ。

(荒井委員)

第3部会の副会長、荒井です。よろしくお願いいたします。

第3部会では、仮称「Akiha おとな大学」という事業を提案し、進めていきたいと思っています。この事業は昨年度も実施しましたが、各コミュニティ協議会や自治協との共同参画の場が少ないという意見があり、その改善策について議論が行われました。具体的には、初心者向けの歴史講座の実施や、地域特産のもち麦の消費を促進するための様々な活動が検討されています。これまでクッキング教室やレシピ作成を通じて家庭での料理に取り組んできましたが、もち麦の消費量拡大に十分繋がっているかについては疑問が残っています。

今回の計画では、分かりやすい歴史講座を継続し、地域の歴史への関心を深めることに重点を置く予定です。昨年度の歴史講座は好評であり、各コミ協との相互認知を深めることを目指しています。

もち麦に関しては、消費拡大を目指して来年度に「もち麦クッキングコンテスト」を夏に向けて開催する予定です。さらに、今年度はもち麦を使ったお菓子の製作と普及に取り組んでおり、来年の春にはこれを実施する予定です。

歴史・文化部門では、講演会を計画していますが、その内容については今後検討していく予定です。

以上が第3部会の提案内容です。よろしくお願いいたします。

(中島会長)

荒井委員、詳細な報告をありがとうございました。

それでは、第1部会から第3部会までの報告に基づいて、委員の皆様からのご意見やご質問をお待ちしています。木村委員、どうぞ。

(木村委員)

質問ではありませんが、共有したいことがあります。第2部会の移動支援事業を参考に、小須戸コミュニティ協議会では、社会福祉協議会や地域のデイサービスセンター「緑花園」の協力を得て、同様の事業を実施することができました。10月3日から本格的にスター

トし、バス路線のない水田、小向、横川浜地区の高齢者7名が参加します。第1火曜日と第3火曜日にスーパー等がある小須戸や白根へ送迎する事業です。第2部会の事業が大きなヒントになりました。ありがとうございます。

(中島会長)

木村委員、貴重な情報の共有ありがとうございます。交通弱者への配慮という観点からの取り組み、素晴らしいですね。他の委員の方からも何かご意見や質問はありますか。それでは、特にないようですので、これで「令和6年度特色ある区づくり予算＜自治協提案事業＞」についての議論を終了します。

(5) 令和5年度新潟市区自治協議会全体委員研修会の報告について

(中島会長)

次に、区自治協議会全体委員研修会について説明させていただきます。

9月9日に黒崎市民会館で開催された全体委員研修会についてです。私自身初めての参加でしたが、秋葉区自治協から16名が参加したと記憶しています。カラフルなポロシャツが目目を引いた印象深いイベントでした。ありがとうございました。

研修会は2部構成で、前半は丸田秋男医療福祉大学の教授による講演がありました。新潟市自治協の16年間の歩みを振り返り、今後の展望と課題についての貴重なお話がありました。特に、自治協委員同士、コミ協、区民、公共団体、市議会議員、市長との情報共有と意見交換の必要性が強調された点が印象的でした。

後半は3つの分科会に分かれ、私はまちづくり分科会に参加し、秋葉区の取り組みを発表しました。東区と江南区もそれぞれ独自のプロジェクトを発表しましたが、秋葉区は住民協働型のまちづくり支援事業「きらめきサポートプロジェクト」について報告しました。他区の委員からも質問や感想が多く寄せられ、大変関心を持っていただきました。

研修会後のアンケートを基に、来年度の研修会のスタイルを検討する予定です。私自身は、この分科会方式の継続が良いと感じています。区間交流の強化も必要で、他区では区間で交流会や意見交換会を開催している事例があるため、そのような取り組みも有効だと思います。

以上が私の感想です。出席された他の委員からの補足や感想があればお聞かせください。それでは、区自治協議会全体委員研修会についての説明を終わります。

(6) 部会活動報告について

(中島会長)

それでは、6「部会活動報告」に移りましょう。第1部会、第2部会、第3部会、広報部会、コミュニティ未来ビジョン部会、ひな・お宝巡り部会の順に報告をお願いします。ご意見や質問は、すべての部会から報告が終わってからお願いします。第1部会加納部会長、どうぞ。

(加納委員)

第1部会の加納です。4つの採択事業のうち、小須戸まちなか演奏会と聞き書き養成講

座のポスターが完成しました。これらについては、皆さんの手元にも配布されています。

また、私が担当しているアキハフジンロックフェスティバルは、3月の開催に向けて現在準備中で、具体的な報告はまだありません。

中央コミ協の秋葉湖周辺整備計画も、3月の看板設置に向けて準備が進んでいます。

チョイ戦については、大学生の参加を計画中で、現在構想を練っています。

皆さん、3月の完成を楽しみにお待ちしております。

(中島会長)

加納委員、ありがとうございました。第2部会、青木部会長、お願いします。

(青木委員)

第2部会からの報告が2点とお願いが1点あります。

まず報告についてです。1つ目は8月29日の火曜日、令和6年度の提案事業について検討しました。2つ目は9月22日の金曜日で、区長を招いて公共交通に関する勉強会を実施しました。これらが終了した事業の報告です。

次にお願いについてです。来月の10月15日、日曜日に防災講演会を開催します。時間は午後1時半から文化会館で行われ、今回の講師は関川村の区長さんです。関川村は56年前に大水害を経験し、最近も甚大な被害を受けましたが、区長さんの適切な判断と指揮で死傷者を出さなかった経験を共有していただきます。奥様からは女性の視点からの防災についてお話を伺います。この講演会には一人でも多くの方に参加していただきたいと思います。また、当日は第1部会と第3部会の皆さんに、お忙しい中ですが支援をお願いしたいと思います。

第2部会の報告は以上です。

(中島会長)

青木委員、ありがとうございました。それでは、第3部会からの報告をお願いします。佐々木部会長、どうぞ。

(佐々木委員)

座ったまま失礼いたします。第3部会の副会長、佐々木です。今年度の部会活動として、Akibaおとな大学の継続を行っており、講演会、トレッキング、もち麦の3事業を進めています。その中でも決定しているイベントが、講演会部門の「秋葉区の植物について」という仮称のイベントです。令和6年1月14日に秋葉区文化会館で開催を予定しており、講師に新潟県立植物園友の会の伊藤泰師さんを迎える予定です。このイベントには新津高校の生徒も参加する可能性があり、現在調整中です。12月3日に区だよりで広報し、その後パンフレットを作成する予定です。

また、もち麦部門では、ぶどう工房さんによるもち麦パン作り教室を2月16日に勤労青少年ホームで開催します。トレッキング部門では、令和6年度に向けて里山の魅力を体験するイベントを企画しており、現在進行中です。

(中島会長)

佐々木委員、ありがとうございました。それでは、広報部会からの報告をお願いします。森田部会長、どうぞ。

(森田委員)

広報部会の森田です。まず、かわら版「あきはくはつものがたり」を9月3日に発行しました。カラー版で、会長、副会長、各部会長の紹介、部会の活動、ラジオ版「あきはくはつものがたり」、漫画コーナーなどを掲載しました。今後2月の区報にも活動の紹介を掲載する予定です。また、区のホームページにも2か月に1回程度、各部会の事業や自治協とコミ協の協業事業を掲載しています。今後も部会の活動を取材し、情報提供をお願いします。

エフエム新津のラジオ版「あきはくはつものがたり」も5月から9月まで完了しました。10月以降も継続しますので、委員の皆様の協力をお願いします。

最後に、8月のにいつ夏まつりでの松坂流しに16名の委員が協力してくれたことに感謝します。

(中島会長)

森田部会長、ありがとうございます。それでは、コミュニティ未来ビジョン部会の報告を私、中島が報告いたします。

昨日、2回目の会議が行われました。議題として、まず各地域の開催状況について話し合いがありました。地区によっては3回目の座談会を終えたところもあれば、これから第1回を迎える地区もありました。ワークショップ全体が終了してからの今後の進め方についても協議が行われ、緊張感のある会議でした。いくつか意見が出た中で、特に参加者が減少していくことや、発表会の時間が短すぎる点、きらサポだけでは予算が足りないことなどが話題になりました。福祉計画に肉づけする形でまとめていく提案や、5年、10年先のビジョンを考えながら、徐々に行動計画を作る提案など、具体的な意見もありました。共通理解としては、ビジョン策定後に具体的な見通しを持つことの重要性でした。コミ協が主たる担い手とはいえ、予算や人材などの限りがある中で、どう対応していくかが今後の検討課題です。部会では、ビジョンが実効性のあるものになるよう基盤づくりが重要だと確認しました。

それでは、ひな・お宝巡り部会の報告をお願いします。大貫部会長、どうぞ。

(大貫委員)

座ったままで報告させていただきます。ひな・お宝巡り部会では、8月29日に1回目の会議を終え、9月25日に2回目の会議を開催しました。今年度の開催に向けて準備を進めています。私が部会長を務め、副部会長に小山委員と藤村委員を迎えました。今年度も各コミュニティ協議会で開催日程を決めており、メインの会場である地域交流センターでは、5つのコミュニティ協議会のつるし飾りが展示されます。メイン会場の開催日は2月1日から3月9日で、終了日はコミュニティ協議会ごとに異なります。今後チラシやポスターで周知し、皆様のご協力をお願いします。

(中島会長)

大貫部会長、ありがとうございます。第1部会から第3部会、特別部会を通じての報告がありましたが、ご意見や質問はありますか。特になければ、6「部会活動報告」を終わりにします。

(7) その他

(中島会長)

それでは、「その他」の項目に移ります。私から2つ報告があります。まず、前回の本会議で自治協議会の開催時間に関する提案がありました。8月のワークショップ時に委員から提案された通り、開始時刻を早めることにしました。運営会議での検討の結果、10月からの下半期の本会議は、これまでの2時から1時半開始に変更します。日が短くなることも考慮しましたので、来月からは新しい開始時刻での開催となります。お間違えのないようお願いします。

もう一つの報告は、8月のワークショップでお伝えした秋葉区選出の市議会議員との意見交換会についてです。11月28日に自治協議会終了後に開催します。会場は割烹井浦で、意見交換会は17時から、懇親会は18時からを予定しています。以前にも開催したときのように、意見交換会のみ参加も可能です。バスの送迎もありますので、10月の本会議で詳細をご案内し、参加者を募ります。詳細については次回の会議でご説明いたします。よろしくお願いします。

私からの報告は以上です。

3 副市長と意見交換会

(中島会長)

続いて、「副市長との意見交換会」に移ります。まずは副市長、本日はお忙しい中、自治協議会にご出席いただき、ありがとうございました。これまでの会議の様子をご覧になってのご感想をお聞かせください。

(朝妻副市長)

昨年もこちらに参加させていただいておりますが、各地域課題に対する皆さんの真摯な取り組みに深く感謝しております。今日は報告事項が多かったのかもしれませんが、基本的には活発な意見交換が行われていると感じております。私が担当している秋葉区以外の江南、西、西蒲区では、通常口の字形式や対面式で会議が行われますが、秋葉区では独自の並び方で意見交換を意識した配置がされており、これは非常に特徴的であると感じています。

特色ある区づくり予算についてですが、広域合併前の旧新潟市時代には、地区事務所に独自の予算はありませんでした。所長が自由に使える予算の必要性について議論されたことがあります。その時の答えは「要らない」というものでした。理由としては、当時の公民館事業が充実していたため、所長に自由に使える予算を渡すと既存の事業を壊しかねないという懸念がありました。その後、広域合併を経て政令市に移行する際に、特色ある区づくり予算の原型を作成しました。これは大きな区役所、小さな市役所という当時の市長のスローガンに基づいており、横浜市の仕組みを参考にしました。ただし、横浜では予算の規模に対して予算額が少なくなっており、基本的な区役所業務が前面に出ています。新潟市では特色ある区づくり予算を工夫してきており、今年予算からは区長提案の新しい仕組みを導入しました。この仕組みは、区長が市長と直接話し合い、区長がより仕事を

やりやすいように、また区民の要望に応えやすいように設計されています。制度のための制度ではなく、必要に応じて変更が可能で、使いやすくやりがいのある仕組みが求められています。これは今までの流れを踏まえたものであり、今後もより良い形に改善していくことが重要だと思っています。参考までにお話させていただきました。ありがとうございました。

(中島会長)

朝妻副市長、貴重なお話ありがとうございました。特色ある区づくり予算に関して、その裁量予算があるからこそ、私たちも区民主導のまちづくりに取り組むことができます。創意工夫が求められているという点、大変参考になりました。ありがとうございます。

さて、委員の皆様から副市長に意見交換したい内容があれば、お願いします。特色を持った取り組みや感じている区の魅力、課題など、秋葉区について知ってほしいことがあれば挙手で発言をお願いいたします。

では、坂口委員、お願いします。

(坂口委員)

阿賀浦コミュニティ協議会の坂口です。よろしく申し上げます。秋葉区では、すべてのコミュニティ協議会が1期、2期、3期に分かれて、区のコミュニティ未来ビジョンの策定に取り組んでいます。このプロジェクトは、2020年度、2021年度に自治協が実施した暮らしやすさに関する意識調査の結果を基に、今年度から自治協議会の提案事業として区が各コミュニティ協議会の未来ビジョン策定を支援しています。

阿賀浦コミュニティ協議会では、この未来ビジョンづくり座談会に取り組んでいます。当初は参加者が集まるか、どのように参加してもらえるか悩みました。特に若い世代の参加が難しいかもしれないという懸念がありました。しかし、小中高校生、先生、コーディネーター、PTAのメンバー、コミュニティ協議会代表、自治会・町内会、一般の方々を含めて31名が参加し、小中高校生からの自由な発想と活発な意見が印象的でした。参加した小学生は地域の宝について新たな発見があったと感想を述べました。

今後10年後の未来を見据え、若い世代を中心に取り組んでいくことが重要だと感じています。すでに2つのコミュニティ協議会が具体的なアクションプランを作成しており、阿賀浦コミュニティ協議会も今月末に第3回目の座談会を開催し、アクションプランを検討します。これにより、各コミュニティ協議会が地域の特色を生かした魅力ある未来ビジョンを策定し、実現への道筋を描けると思います。

区の区ビジョン基本方針にリンクし、一極集中ではなく各コミュニティ協議会が主体となるまちづくりが展開されるでしょう。市と区の支援が重要で、持続可能なまちづくりに向けて貴重な取り組みとなるよう、今後ご支援をお願いいたします。以上です。

(中島会長)

ありがとうございます。坂口委員からの阿賀浦コミュニティ未来ビジョン策定に関する報告、承りました。ボトムアップ型の地区まちづくり計画として、現在11の地区がコミュニティ主導で取り組んでおります。特に若者たちの参画と担い手の育成に注力しており、その点にも期待しています。副市長、この件についてのコメントや感想をお願いします。

(朝妻副市長)

この取組みは非常に素晴らしいと思います。ありがとうございます。特に、お子さんたちが参加していることは、将来に対する夢や希望を感じさせてくれる重要な事実です。今後もこのような取組みを続けていただくことが重要だと思います。持続可能性という言葉がよく用いられますが、こうした地域での課題解決に向けた取り組みは、単に可能性の問題として議論するだけでなく、継続していくべき重要な事項です。行政としては、最近地域にお任せする傾向にあるかもしれませんが、それだけではなく、支援するべきところは積極的に支援していきたいと考えています。ありがとうございます。

(中島会長)

副市長、ご感想ありがとうございます。

他の委員の皆さんからもご意見がありましたら、お聞かせください。それでは、大貫委員、どうぞ。

(大貫委員)

座ったままでお話をさせていただきます。地域包括ケア推進モデルハウスだんだん・嶋岡を運営している大貫です。

夏休みに実施した子供の居場所についてお話しします。去年はコロナの影響で1日しか実施できませんでしたが、今年は地元の子供たちや父兄の声を受けて、週1回、5日間の計画を立てました。小須戸小学校の校長先生に挨拶に行き、PTAの父兄に安心メールで情報を配信していただきました。これにより、従来は近隣からの参加だけでしたが、竜玄や横川浜、小向といった遠方の地域からも子供たちが参加してくれました。合計で84名の子供たちが参加し、新潟大学と医療福祉大学の学生が実習生として参加してくれました。事前には渡邊彩さんや区社協と密に話し合いを行い、メニューを決定しました。夏休みにカップラーメンやバナナで済ませる子供たちの話を聞き、おむすび作りを計画しました。子供たちも積極的に参加し、男の子も女の子も、おばあちゃんも一緒に楽しんでいただきました。5年生の男の子がお母さんに作ってあげたという話を聞き、非常にうれしく思いました。

参加した中には、人の中に入るのが苦手な場面緘黙症の子供もいましたが、保育園の園長さんや養護教員だった方の支援により、受け入れを行いました。最初は戸惑っていましたが、次第に慣れ、最後までいられるようになりました。その後も参加してくれ、子供の成長と笑顔を見ることができました。参加した子供たちからの感想も私たちにとって大きな自己肯定感となり、活動の意義を感じました。

地域活動を続けるためには、自分たちの生活がしっかりしていなければならないと思います。周りの理解や家族の支援、補助金に頼らない運営を目指していますが、社協さんからの食材支援など、多くの方からの協力に感謝しています。これからも健康を維持しつつ、さまざまな世代にバトンを渡していけるよう活動を続けていきたいと思っています。

以上です。ありがとうございました。

(中島会長)

ありがとうございます。包括ケアシステムについてのご説明、理解いたしました。これ

まで茶の間事業が主流でしたが、この夏休みには子供たちの居場所を提供する活動が目立ちました。子ども食堂、またはふれあい食堂として、子供たちが料理を作り、共に食事をし、大学生がボランティアで参加するという取り組みですね。感謝の手紙を受け取るなど、感動的なエピソードがあり、大変心温まる話です。副市長、こちらについての感想やコメントをお願いいたします。

(朝妻副市長)

ありがとうございます。子供たちの居場所に関して、国では現在議論が進行中で、年末までに基本的な方針をまとめる予定です。岸田政権では、異次元の子育て支援と少子化対策を検討していますが、主に働く親や育児環境の整備に焦点が当てられています。しかし、子供そのものへの直接的な支援はまだ十分ではないと感じています。こども家庭庁の範囲外の問題として、文科省との協力も重要だと思います。子供の居場所に関する議論は非常に大切で、今のような現実の事例が理論よりも重要だと改めて感じました。ありがとうございました。

(中島会長)

貴重なご意見、ありがとうございます。

時間は約20分経過しましたが、他に発言を希望される方はいらっしゃいますか。青木委員、どうぞ。

(青木委員)

すみません、タッチの差で間に合いました。ありがとうございます。金津コミ協の青木です。ご苦労さまです。

地域住民の切実な願いとして、2点お願いがあります。まず1点目ですが、総合体育館をコミ協が使いやすくするための検討をお願いしたいと思います。地域の活性化や住民同士のつながりを強化するために、私たちは様々な行事を企画しています。特に、運動会を例に挙げると、今年は第59回、来年は記念すべき第60回を迎えます。総合体育館に関してお伺いしたところ、新潟市や区が優先され、コミ協や自治会は一般と同じ扱いを受けています。コミ協は個人や営利目的で使用するわけではなく、地域の絆を深めるための活動ですので、より使いやすい条件を検討していただきたいと思います。

2点目のお願いは、最近頻繁に目撃されているイノシシへの対策についてです。秋葉区では、過去5年間は熊の目撃がありませんでしたが、最近イノシシの出没が問題となっています。区民生活課も対応に苦労されていることは理解しておりますが、新潟市として大型獣への抜本的な対策を検討していただきたいと思います。

これら2点が私のお願いです。以上です。

(中島会長)

青木委員、ご意見ありがとうございました。総合体育館の運用に関して地域団体からの開かれた利用に関する要望があったと理解しました。そして害獣対策ですが、確かに最近金津植物園にイノシシが出没しましたね。これは秋葉区にとっても大きな問題です。副市長、感想やコメントがあればお願いします。

(朝妻副市長)

体育館の利用方法については理解しましたので、担当部と検討したいと思います。イノシンや熊の問題に関しては、秋葉区だけでなく西蒲区にも同様の問題があります。抜本的な対策が直ちに効果を発揮するかは不確かですが、可能な対策を考えてみたいと思います。熊も一種の被害者ですが、私たちにとっては被害が起きるのが問題です。前向きに検討したいと思います。ありがとうございます。

(中島会長)

ありがとうございます。他に発言があればと思いましたが、時間が来てしまいましたので、副市長との意見交換はこれで終了です。今日はありがとうございました。副市長、最後に一言お願いします。

(朝妻副市長)

今日は貴重な意見交換の機会をいただきありがとうございました。また機会があれば参加したいと思います。もし質問があれば後日お答えしますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

(中島会長)

朝妻副市長、ありがとうございました。本日の意見交換は市長をはじめとする執行役と共有していただき、市政運営の参考にしていただければ幸いです。今日はありがとうございました。これにて議事を終了します。